

特集1 センターの国際交流	1
特集2 防災について考えましょう	2
災害対策専門研修	3
研究員の災害調査報告	4
地震に関する言い伝え	5
さまざまな声が寄せられました	6
Display Pickup「こころのシアター」	7

特集1

センターの国際交流

センターでは国際交流事業も実施しています。平成15年は、「日本におけるトルコ年」です。そこで、今回はトルコ国との交流にスポットを当ててみました。

●JICA受託研修

平成14年度に引き続き、国際協力事業団(現:国際協力機構・JICA)からの受託事業として、災害対策／震災復興研修が7月27日から8月15日にわたって実施されました。

今回の研修ではトルコ国内務省や大学等から8人の研修員が来日し、日本における災害対策等について学びました。



展示風景

研修員からは「危機管理等について帰国して役に立つ話を聞けて感謝している」等の評価をいただきました。



研修修了証授与式の模様

●トルコの子ども絵画展

99年8月に起きたトルコの地震の際に、兵庫県から阪神・淡路大震災で使用された仮設住宅を送り、現地に仮設住宅の村(日本仮設村)ができました。その村に仮設村小学校が設けられており、昨年8月にイスタンブール日本総領事館が児童に画材を贈呈したところ、今回、その画材で描いた絵が、これまでの日本からの支援に対するお礼として送られてきました。

センターでは、7月1日から8月31日までの間、イスタンブール日本総領事館、国際協力事業団(現:国際協力機構)の協力を得て、絵画(寄贈を受けた124点を数回に分けて展示)に加え、トルコの子どもたちのメッセージも併せて展示しました。

また、7月21日には、メッセージの翻訳に協力してくださった東京外国语大学講師のイナン・オネル氏、仮設村で活躍された被災地NGO協働センターの鈴木隆太氏を迎え、センター福留研究員のコーディネートで記念講演会が実施されました。

この絵画展は、終了後、センターの企画展としては初めてパッケージ化され、新潟県でも実施されました。



記念講演会。現地の少年が鈴木さんに宛てて描いた絵が紹介された

特集2

防災について考えましょう

人と防災未来センターでは、防災について考えるイベントを色々と実施しています。

●夏休み子ども防災ワークショップ

昨年に引き続き今年の夏も、人と防災未来センターでは「夏休み子ども防災ワークショップ」を開催しました。対象は小学校の4・5・6年生で、神戸市内在住の方だけではなく、奈良県など遠方から来てくださった方々もいらっしゃいました。以下の二つの実施プログラムにおいて、子どもたちが災害を真正面からとらえながらも、楽しく生き生きと学ぶ姿がとても印象的でした。

「じしんがきたらどうしよう？！」

～子どもサバイバル～（8月12日）

夏休みのある日、お友達の家で子供だけで遊んでいる時に地震がきたら…という設定でプログラムは進められました。まず、地震のしくみを学んでから起震車に乗り実際に揺れを体験。安全な身の守り方を習得した後は地震後の時間を追うかたちで、三角巾を使っての救急法、新聞紙を折ったスリッパやダンボールの簡易トイレなどの作り方をゲーム形式で学んでいきました。サバイバル・クッキングで非常食を試食した後は各班から今回の体験学習について



起震車では震度7という大きな揺れを体験！



ペットボトルを壊すって地震をおこすと…

まとめた「壁新聞」を交えての発表もありました。

「ペットボトルでかんたん液状化実験」（8月21日）

阪神・淡路大震災でも、ポートアイランドなどの埋立地で見られた地震による地盤液状化現象（海岸や河川付近の比較的地盤がゆるく地下水位が高い土地でおこりやすい現象）を、砂・水・消しゴム・ペットボトルなどといった簡単な材料を使い学習。4チームに分かれて行われた実験も大成功に終わり、「夏休み自由研究」のテーマとしてもおおいに役立ったようでした。

●防災とピクトグラム

ピクトグラムとは、非常口や立ち入り禁止を表示するサインに用いられている絵文字・絵記号のことと言います。外国人同士のコミュニケーションや文字の読めない子どもたち、文字が見にくい高齢者にも効果的であると言われています。センター資料室で、現在使用されている防災に関するピクトグラムをクイズで紹介したり、まだ決まっていないピクトグラムのデザイン案の投票などを行いました。この展示については、資料室ホームページ(<http://www.dri.ne.jp/html/siryou/>)にも詳しく掲載されています。



資料室の壁面展示

防災に関するピクトグラムの例



非常電話



非常口



消火器



広域避難場所



非常ボタン



●わが家も安心防災展

防災月間である9月に、ライフライン関連企業等の協力を得て、地震をはじめとする様々な災害に対し、いざという時に家庭で対応できる簡単な防災知識や関係機関の防災対策を来館者に学んでいただき、住民レベルでの防災力の向上をめざす展示を実施しました。

展示の様子

平成15年度災害対策専門研修

昨年度に引き続き、平成15年度も標記研修には全国各地から参加があり、概ね高い評価をいただきました。軌道にのってきたこの研修、今後もますます充実したものとするよう、スタッフ一同、がんばっていきたいと思います。

春期コース参加者の内訳

	府県	市町	政府機関	ライフライン	総計
兵庫県	6	7	5	4	22
近畿(兵庫除く)	6	5	5	2	18
東北地方	2	2			4
関東地方	2	1	6	1	10
中部地方	9	5			14
中国・四国地方	4	2			6
九州地方	2				2
総計	31	22	16	7	76

秋期コース参加者の内訳

	府県	市町	政府機関	ライフライン	その他	総計
兵庫県	4	7	1			12
近畿(兵庫除く)	15	12		5		32
東北地方	1	2				3
関東地方	5	4	5			14
中部地方	9	4	3			16
中国・四国地方	14	4	2			20
九州地方	3	4			1	8
総計	51	37	11	5	1	105

～研修を受講して～

今回は、昨年度Bコースを修了され、今年度秋季にAコースを修了し、初めて全コースを受講された、芦屋市(兵庫県)総務部防災対策課の今石佳太さんにお話をうかがいました。

～まずは受講お疲れ様でした。

今石さんは昨年の受講がきっかけで今年も受講されたのですか？

はい。私は昨年芦屋市消防本部から防災対策課に出向してきました。昨年Bコースを受講しましたところ、とても参考になりましたので、ぜひ今年も引き続き受講しようと思いました。

～両方のコースを受講されて、AコースとBコースでいちばん違いを感じられたのはどんな点でしたか？

Bコースは災害のメカニズム等について基礎を学んだのですが、Aコースでは、特に最終日のコマでマスコミ対応で判断をするなど、リーダーとしてのあり方について勉強できたと思います。

私の今の立場では、そのまま生かすのは難しいかもしれません。立場を置き換えて考えれば、とても参考になりましたね。

専任研究員の方々がよくカリキュラムを考えておられると思いました。

～ありがとうございます。各コースを通して今後の研修で改善すべき点などがありましたらお聞かせ願えますか？

そうですね。改善というわけではありませんが、防災主管課以外にも、例えばボランティア関係の部署など、様々な担当部



センターをバックに記念撮影(後列左から3番目が今石さん)

局が受講できるように発展していくには、組織としてのレベルアップにつながると思います。

～今後の抱負などをお願いします。もちろん、ダイレクトに成果を活かせるような災害が無いにこしたことはないんですけど(笑)。

そうですね(笑)。これから組織を変えていくにあたって、市の防災体制をよりよくするために今回の研修の成果を活かしてがんばっていきたいと思います。

～本日はお忙しい中、ありがとうございました。

専任研究員の論文が表彰されました

11月7日から9日まで、静岡県地震防災センター(静岡市)にて地域安全学会第13回研究発表会が開催されました。人と防災未来センターからは4編の査読論文が報告され、うち2編について、筆頭著者である越山健治専任研究員と永松伸吾専任研究員に奨励賞が授与されました。

それぞれの報告論文名は下記の通りです。

越山研究員 「災害復興公営住宅居住者の復興感分析—2002年兵庫県災害復興公営住宅団地コミュニティ調査報告—」

(越山健治・立木茂雄・室崎益輝・小林郁雄・菅磨志保・福留邦洋・柄谷友香)

永松研究員 「住宅被害の軽減策の推進と事後補償の充実—両立可能な制度の提案—」

(永松伸吾・秦康範)

平成15年7月

梅雨前線豪雨による九州水害調査報告

7月19日頃から梅雨前線が、北陸地方から対馬海峡付近にのび、停滞し、この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の南側にあたる東日本から西日本にかけての広い範囲で大気の状態が非常に不安定となっていました。このため、20日の未明から明け方に、熊本県を中心に非常に激しい雨が降りました。その後一時雨の降り方は弱まりましたが、20日の夜から21日の朝にかけて、大分県、長崎県、山口県などで1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降りました。人と防災未来センターでは、発災直後の状況把握のため調査隊を現地に派遣しました。

水俣市では、7月20日4時18分に宝川内地区で大規模土石流が発生し、15名が死亡、引き続き4時35分頃には深川新屋敷地区において土砂崩れが発生し4名が死亡しました。調査当時はまだ4名が依然として行方不明であり、現地では救助活動が継続中でした。熊本県庁の話によると、今回の災害では自衛隊への派遣要請はスムーズに行われたそうです。過去に発生した山火事などの派遣要請を行ったことがあります。その後平時からも情報交換の機会を設けていたことを理由に挙げていました。また、県庁からは災害現場に職員を2名派遣し、情報収集や県と市の調整に当たっていました。「現場の緊張感が分かる人間でないと地元自治体との調整は困難」であるとのことでした。

被災地から下流へ数キロ下ったところに、最近開設されたばかりのコミュニティセンター「葛彩館」があり、ここが被災者の避難所として利用されていました。

避難所の運営責任者である吉本氏によると、この避難所には最大63名の被災者とその親族などが宿泊したそうです。当時の現場のプライオリティーは搜索活動と犠牲者の葬儀にあり、まだボランティアに手伝ってもらえる状況ではありませんでした。これらは地元の人間が互いに支え合いながら行っていました。

また「被災者に早く日常を取り戻してもらうことが何より重要」であるとの観点から、弁当だけでなく、みそ汁を提供したり、出来る限り制服で被災者の前に姿を現さないなどの配慮を行っていました。現場として被災者や現地のニーズを汲み取り、市などに対策を訴えていくのも重要な仕事だと言い、「ここから市を突き動かしていくぐらいでないといけない」と現地のニーズ把握の重要さを語っておられました。

平成15年
(2003年)

十勝沖地震に関する調査結果

平成15年9月26日に北海道沖で発生した地震（十勝沖地震）について、人と防災未来センターでは、発災直後の状況把握のため調査隊を現地に派遣しました。

地震の概況

発生日時	平成15年9月26日 4時50頃
震央地名	釧路沖
震源の深さ	約42km
規模	マグニチュード8.0
各地の震度	
震度6弱	北海道：幕別町 釧路町 新冠町 浦河町ほか
震度5強	北海道：釧路市 別海町 更別町 厚真町ほか
被害の概要	行方不明者3人 負傷者591人 全壊7棟 半壊15棟

今回の地震は地震動が震度6弱（最大）であったものの、家屋被害は少なかったです。しかし、家具等の転倒に伴うけが等が原因で、負傷者がきわめて多くなったようです。慌てないことや家具の固定など、負傷しないように気をつける必要があります。

襟裳岬で最大津波高さ4mが計測されました。しかし、被害の程度は通常想定される範囲に止まっています。しかし、ヒアリングの結果、津波の恐ろしさに関する知識が、必ずしも住民や漁業関係者の全てに理解されていたわけではないことがわかりました。津波が原因となって漁業関係者に人的被害が出なかつたのは、地震が起きた時間は、秋鮭の漁のために出漁中であった幸運によっているといえます。十勝川で釣り人が津波にさらわれる被害も出ています。津波に対して、迅速な避難が必要だといえます。



土石流に押しつぶされた車。



深川新屋敷地区で起きた土砂崩れ現場の全景。撮影者が立っている道路を挟んで向かいに避難所がある。



広尾町 十勝港の様子

あなたは知っていますか?

～地震にまつわる言い伝え～

PART 2

先号で好評だった、世界の国々の地震伝説を今回も引き続きご紹介します。
【「地震にまつわる言い伝え」展(人と防災未来センター:2002年12月～2003年6月)より】

ネイティブアメリカンでは…

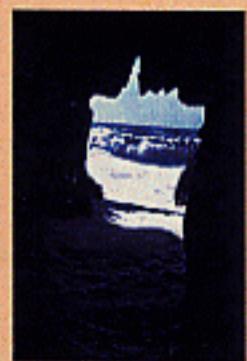
かつて、チカソー族の酋長とチョクトー族のお姫様が恋におちました。酋長は、若くてハンサムでしたが、足がねじっていました。それで、人々は彼のことを「リールフット」と呼んでいました。お姫様の父親が、その「リールフット」に娘をやることを拒んだので、チカソー族の酋長と彼の仲間は彼女を連れ去り、二人の結婚を祝いました。そのため、部族の神は怒り、足を踏み鳴らしました。その衝撃は、ミシシッピ川を溢れさせ、その結婚式全体を浸水させてしまいました。

(注:ミシシッピ川のテネシー側にある、リールフット湖は、1812年のニューマドリッド地震によって形成された。)



ギリシャでは…

アリストテレスの著書や、シェイクスピアの『ヘンリー4世』という劇によると、地面の下の洞窟に激しい風が閉じ込められていて、その風が外に出ようと暴れるので、地震がおこるとされています。



ニュージーランドでは…

母なる地球のお腹の中に「ルー」という神である子どもが入っていて、その子どもが赤ん坊がするように伸びやキックをするから、地震が起こるといわれています。





■来館者からの

今日は“ひと未来館”来館者の感想をまとめました。

- 今日、ほんの軽い気持ちで入りましたが、とっても自然はありがたくて、やさしくて、気持ちのいいものだと実感させられました。人間は大変勝手な生物なのに、他の生物は少し許してくれているのですね。あまり甘えないでおこうと思いました。
(和歌山県 女性 39歳)
- 久しぶりに気持ちの良いミュージアムを見た感じです。大震災や自然を通じて子どもにも〈命の尊さ〉をわかり易く展示が工夫されており、また案内の方もていねいに接してくださいました。また来てみたいと思います。
(和歌山県 男性 38歳)
- 防災未来館での映画では涙が出てしました。ひと未来館では、自然に包まれた気分になり、いやされました。自然とふれあうことが少なくなった私ですが、とても気分が軽くなりました。
(女性 15歳)
- 今日はプラスバンドのみんなとイメージをとるためにきました。防災未来館ではすごく悲しい気持ちになり、そのあとでここに来ると「ふわっ」という気持ちになりました。とてもいい時間を過ごしました。
(三重県 女性 14歳)
- 普段の忙しい毎日から解放された気分です。リラックスできました。また曲づくりのためのイメージをつかむことができて本当にありがとうございました。今日の日を無駄にしない演奏をしたいと思います。
(女性 14歳)
- ひと未来館をいろいろと見学してみて、植物や人の命について前よりももっと意識できるようになりました。ありがとうございました。
(三重県 女性 14歳)
- 自然の厳しさと人間の力ではとても立ち向かうものではないとこの歳になって改めて感じました。
(京都府 男性 68歳)
- （こころのシアターで）動物の動きが目の前に出てきたときにはびっくりしました。それとボールが吹っ飛んできたときには、思わず声を出してしまいました。自然のところもよかったです。
(兵庫県 女性 55歳)
- 脳の話がよく出来ていてためになった。面白かった。印刷物が欲しいと思った。
(東京都 男性 31歳)
- 久しぶりにゆったりとした気持ちになれました。楽しさもあっていい施設ですね。
(滋賀県 男性 43歳)
- 自然を自然と感じられるのは人間の特権です。後世へ残す最高のもの…それこそ自然です。
(徳島県 男性 45歳)
- このような立派な施設が出来て神戸の未来を感じます。
(兵庫県 男性 70歳)
- 自然を大切に！こわすのは簡単、でも元に戻すことは難しい。元にはもどらない。私の子供、孫の代はこのままで本当にかわいそう。私の歳でも昔がなつかしい。大人も子どももおおらかだったように思う。私たちが安全に生活するには、自然は本当に大切ですね。
(兵庫県 女性 36歳)
- ずっとずっと続いている命。生きている今を楽しく過ごそう。
(兵庫県 男性 61歳)
- すごくいやされて楽しかったです。今年は受験だから日頃色々と疲れていたけど、かなり吹っ飛びました。本当によかったです。また遊びに来たいです。
(奈良県 女性 17歳)
- いやされました。葉っぱのフレディがかわいいかったです。やすらぎの部屋でやすらぐことができました。
(女性 17歳)
- いのちの大切さ、いのちのいとしさ、いろいろなメッセージをいただきました。
(大阪府 女性 64歳)
- ふくろうがすごくかわいくて、とってもいい話を聞かせてくれてよかったです。真剣になってしまいました。
(兵庫県 女性 9歳)
- 自然を私は残したいです。ここにきていろいろなことがわかって自分のためになりました。ふくろうはいろいろなことを教えてくれてとても楽しかったです。
(兵庫県 女性 9歳)
- 人間は自然の中に溶け込んだとき、本当の安らぎを覚えることを知りました。残り少なくなった自然を大切にし、共存できる世界を祈っています。
(兵庫県 男性 65歳)
- 自分の命の大切さ、それをここで教えてもらいました。また何回でも来たいです。
(兵庫県 女性 13歳)
- とても気持ちよかったです。小さな子どもからお年寄りまで楽しめますね。
(奈良県 女性 47歳)
- 交流の広場の「ポロン」が楽しかった。スタッフの人がさわやかで優しく、よい時間が過ごせました。
(兵庫県 女性 16歳)
- “いのち”あることの不思議、“いのち”あることの尊さ、“いのち”あることの素晴らしさ。いま、ここにあることが素敵なのと思いました。
(兵庫県 女性 54歳)
- 以前に防災未来館に来ましたが、今日はひと未来館で癒されました。特にやすらぎの部屋はよかったです。また今度“癒されたい”と思ったときによってみようと思います。友人にも勧めておこう思います。
(大阪府 女性 20歳)



Display Pick Up
6

こころのシアター PART2

前回に引き続き、「葉っぱのフレディ」を特集します。
今回は村上監督と藤井プロデューサーにお話をうかがいました。

○「葉っぱのフレディ」と会ってみませんか

「のりしろをとって画用紙を貼り合わせると立体ができると知ったときには、世界の秘密にふれたような気がしました。本当にどきどきしましたよ。」これはアニメの宮崎駿監督が少年時代に、表現の極意に触れたときの興奮を語った新聞記事です。そう、映像には奥行きの表現が欠かせません。

これまで何本もの立体映像を見てきましたが、そのほとんどは飛び出し効果のトリッキーな映像だったような気がします。しかし阪神・淡路大震災で失われた多くの尊い命の重たさを思うとき、今度の作品は命や心の尊厳がテーマであると確信しました。

命の＜輝き＞や＜かけがえのなさ＞、命を＜悲しむ＞心を表現することで、観てくださるお客様の心に響くような深い奥行きをもった立体映像作品を作りたい。そこで「葉っぱのフレディ」が選ばれました。主役はユリノキの葉っぱたちです。彼らの生命の賛歌を表現するには四季の摂理を營々と繰り返す自然、＜命＞の営みの尊さを描くこと…そう決めてから手法（ノリシロ）探しの試行錯誤が始まりました。作品を組み立てるには欠かせませんが、出来上がったときに見えてはいけない不思議なノリシロ、それが演出の秘密です。

そこで…どうぞシアターにきて下さい。葉っぱたちは皆さんの座席にまで会いに飛んできますよ。皆さんの手で、画面の愛しい葉っぱたちに触れてやってください。きっと生きているって素晴らしいことだなあと、力がわいてきますよ。

監督：村上佑二（NHKエンターブライズ21）



○「葉っぱのフレディ」の制作にあたって

立体ハイビジョン映像作品「葉っぱのフレディ」を制作するにあたって、わが制作チームの監督は、「子供たちが思わず手を差し伸べたくなる」作品をつくりたいのだと、繰り返し強調しました。

物語は、一枚の木の葉であるフレディが四季を経験するなかで成長を遂げ、最後に「生きる」ということの意味を理解し心の平安にたどり着く、というものです。

絵本として書かれたとはいえば哲学的ともいえるこの物語を、わかりやすく映像化するだけでは十分ではない、フレディとその葉っぱの仲間たちを「思わず手を差し伸べて」触りたくなるほど身近なものに感じてほしい、というのが監督の願いでした。

こうして「葉っぱのフレディ」は立体映像作品であることを前提として、制作を開始しました。しかしそこには数々の産みの苦しみがあったのです。

「葉っぱのフレディ」の撮影がスタートした平成14年の春は、観測史上かつてないほどの異常気象の年でした。桜は二週間も早く咲いて、あっという間に散ってしまいました。フレディとその仲間たちの誕生のシーン、つまりまだ芽吹いていないユリノキを追って、私たちは埼玉へ、長野へ、岩手や青森へ、そして最後には北海道にまで飛んでいくはめになったのです。

気象の異常は春だけで終わりませんでした。夏は連日の雨と曇天に泣かされ、秋の紅葉を撮影に行ったときには、突然雪が降りはじめて、す

っぽりと紅葉を覆い隠してしまいました。

そんな顛境だらけの中でも私たちが元気づけられた撮影もありました。平成14年8月、夏休み最後の金曜日。兵庫県三田市の、その名もゆりのき台小学校の150人の生徒たち、そしてサッカー少年たちは、グラウンドを焦がすばかりに照りつける太陽のもとで、走り、笑い、大声を出して、子供だけが持つはじけるようなエネルギーを画面一杯にぶつけてくれました。

なんとか撮影が終わってほっとしたのも束の間、その後にはまた違った難題が待ち受けていました。

私たちが編集室で使うモニターは普通のテレビ程度の大きさのものでしかありません。一方「こころのシアター」の画面は高さ6メートル幅11メートルという超大型スクリーンです。編集室のモニターで見る飛び出し効果や奥行き感は、シアターの超大型スクリーンではどう見えるのか。本当に「思わず手を差し伸べたくなるほど葉っぱのフレディ」たちは観客のまわりで舞ってくれるのか。それを確かめたくてもシアターが完成するまでは確かめようがないのです。立体でしかもハイビジョンを上映することのできる、このクラスのシアターはまだ日本に存在しないからです。しかたがないので仮設のスクリーンに画面の4分の1だけを同じ拡大率で投影するなどして、テストを繰り返しました。それでも全体を見ることができないことに変わりはありません。編集作業は文字通り手さぐり状態で進めるしかありませんでした。

平成15年3月ついにシアターが完成し、ようやく全体テストができるようになりました。しかしオープンまではあと一ヶ月しかありません。この段階ではもう、大きな修正ややり直しをする時間的な余裕はありません。すべてはこれまでの部分テストが間違っていたか、計算が正しかったかにかかっています。

塗料のにおいが立ち込める真新しい「こころのシアター」の真夜中。暖房はまだ使えず、凍るような冷たさが足先から這い登ってきます。十数人のスタッフが固唾をのむうちに初めての総合テストが始まりました。飛び出し感はどうか。奥行き感はどうか。行き過ぎではないか、足りなくはないか？音響、照明、それにエフェクトシートの効果は計算通りかなどなど、チェックしなければならないことは無数にあります。

結局大体は誤差の範囲に収まっていて、すべて微調整ですむことを確認することができました。その瞬間のスタッフたちの喜びと誇りに満ちた表情は印象的でした。自分の持ち場でベストを尽くしてきたという自信、そしてテストによってそれが裏付けられた誇りで、みんなの顔が輝いていました。

ようやく「葉っぱのフレディ」は完成しました。この作品の制作を通じて、私たちは、いつのまにか小さなフレディを愛するようになりました。葉っぱのフレディはいのちを精一杯楽しみ、死を怖がる無邪気な存在にすぎません。しかし彼は逃げることなく、死と向かい合います。そしてついに新しい生きのちを見出すのです。私たち自身がすでにフレディから涙の贈り物を貰いました。「こころのシアター」においても多くのかたがたの胸にフレディのメッセージが届くことを願っています。

プロデューサー：藤井令子（NHKエンターブライズ21）



神戸の風景の版画が展示されました

神戸甲南ライオンズクラブ結成40周年アクティビティとして、当センターに版画を寄贈していただきました。

版画は、川西祐三郎画伯の作による神戸の風景で、写真にあるHAT神戸ほか、全部で8点。防災未来館1階から2階への階段やひと未来館の1階ロビー、2階エントランスに展示されています。



1月17日は入館料無料！

阪神・淡路大震災発生の日である「1月17日」は人と防災未来センターの入館料が無料になります。センターはメモリアルウォークの終点になっており、追悼のつどいもセンター前で執り行われます。

また、翌18日には「防災とボランティアのつどい」や「炊き出し大会」もセンターで実施されます（18日は無料開放は行っておりません）。

「友の会」会員募集

人と防災未来センター友の会は、センターの活動に協力し、積極的に利用して防災対策の大切さといのちの尊さを学習しようとする人々の親睦を深め、センターと連携しつつ、社会の防災力の向上に寄与することを目的に設立されました。

どなたでも入会できますので、たくさんの方の入会をお待ちしています！

会員特典

1. センターへ無料で入館できます。
2. センターの最新情報が手に入ります。
3. 友の会のイベントに参加できます。

年会費

個人会員 3,000円

法人会員 一口 50,000円

郵便振替：00940-2-160211

口座名：阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター友の会

※10月以降に入会された場合、半額になります。

「家庭防災会議を開こう！」より

火災が起きたら？

地震で火災が発生すると、より被害が甚大になります。火災が発生したら、絶対に無理をせず、次のように落ち着いて行動しましょう。

- 1 小さな揺れのとき、または揺れが収またら火元を消しましょう
- 2 大きな声でまわりに知らせましょう。
- 3 天井近くまで火が燃え上がったら避難しましょう

消火のポイント

- 火元を狙って消す
- 延焼を防ぐ
- 燃えるものを濡らす
- 酸素を絶つ
- 逃げ道を確保する
- 油に水は禁物

MiRAi

[人と防災未来センターニュース] Vol.7

発行／阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

お問い合わせ先



阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター

神戸市中央区鯛浜海岸通1-5-2 T651-0073

事務局／TEL.(078)262-5060

観覧案内／TEL.(078)262-5050

ホームページアドレス／<http://www.dri.ne.jp/>

●開館時間 9:30～17:30(入館は16:30まで)
ただし、7～9月は9:30～18:00
(入館は17:00まで)
金・土曜日は19:00(入館は18:00まで)

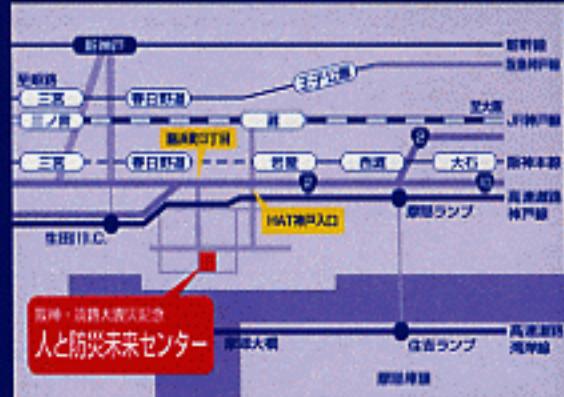
●休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
年末年始の12月31日と1月1日
＊ゴールデンウィーク(4月28日～5月5日)期間中は無休

●入館料金(団体は20名以上)

区分	防災未来館		ひと未来館		両館とも	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
大人	500円	400円	500円	400円	800円	640円
高校・大学生	400円	320円	400円	320円	640円	510円
小・中学生	250円	200円	250円	200円	400円	320円

* 兵庫県内の小・中学生はココロンカードを提示すれば無料。
兵庫県内在住の高齢者・障害者は上記の半額です。

交通マップ



■交通 鉄道／阪神「岩屋駅」から徒歩約8分、
JR「猪名駅」南口から徒歩約10分。

阪急「王子公園駅」西口から徒歩約15分。

バス／JR・阪神・阪急・神戸市営地下鉄「三宮駅」から約15分。

神戸市営バス 三宮駅前から約1時間間隔で運転。

阪神電鉄バス 三宮駅前から約30分間隔で運転。

車／阪神高速神戸線「生田川ランプ」から約3分、

阪神高速神戸線「摩耶ランプ」から約4分、

阪急・阪神・JR「三宮駅」から約10分。

■駐車場 有料駐車場(普通車100台駐車可能)このほか近隣にも駐車場があります。

■バス待機所

予約制(26台)無料
観覧予約時に待機所利用のご予約をお願いします。

ご意見・ご感想は事務局まで。